

2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社TWOSTONE&Sons 上場取引所 東
 コード番号 7352 URL <https://twostone-s.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 河端 保志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 加藤 真 (TEL) 03(6416)0057
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第1四半期の連結業績(2025年9月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第1四半期	5,740	38.7	629	117.8	625	121.4	367	91.5
2025年8月期第1四半期	4,137	28.5	289	387.5	282	371.7	191	577.5

(注) 包括利益 2026年8月期第1四半期 364百万円(89.3%) 2025年8月期第1四半期 192百万円(580.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第1四半期	8.44	7.69
2025年8月期第1四半期	4.43	4.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第1四半期	10,529	3,829	35.1
2025年8月期	9,947	3,467	33.7

(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期 3,694百万円 2025年8月期 3,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2026年8月期	—				
2026年8月期(予想)		0.00	—	0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,182	33.8	1,324	61.6	1,321	63.7	660	33.6	15.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名) 株式会社ストラテジー、除外 ー社 (社名)
キャンパス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年8月期1Q	43,499,760株	2025年8月期	43,493,360株
2026年8月期1Q	627株	2025年8月期	627株
2026年8月期1Q	43,495,546株	2025年8月期1Q	43,294,333株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2026年1月14日 (水) にライブ配信による決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、開催後当社ウェブサイト (<https://twostone-s.com/>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に内需の底堅さがみられた一方、消費者物価は基調的に高止まりする局面が続き、実質賃金の改善はなお途上であることから、消費者の節約志向が継続いたしました。

また、海外経済を巡っては、主要国における通商政策の変化及び地政学的リスクの高まりにより国際貿易をめぐる不確実性が増大しており、為替変動や資源価格の上昇を通じた国内景気への波及が懸念されております。加えて、金融資本市場の変動等も相まって、国内景気の先行きに対する不透明感は強い状況が続いております。

一方で、国内では構造的な人手不足が一段と顕在化しており、なかでもIT人材の確保は企業活動における喫緊の課題となっております。生成AIをはじめとする新技術の実用化が進展する中、サイバーセキュリティ需要の高まりも相まって、企業が求めるITスキルは単なる増員ニーズにとどまらず、要件の高度化・専門化が進んでおります。その結果、採用のみならず、リスクリングを含む人材育成・再配置の重要性が高まり、国内の労働市場においても高水準の人材需要が継続しております。

このような事業環境のもと、当社の事業領域と相関の高いIT市場では、デジタルトランスフォーメーション（DX）投資に加え、生成AIを活用した業務効率化や新規事業開発などの取り組みが拡大しております。デジタルシフトを推進する企業において人材需給の逼迫が続く中、ITエンジニアに対する採用意欲は依然として強く、当社が担うITエンジニアの提供機能の重要性は従来にも増して高まっているものと認識しております。

このような環境下、当社は企業のデジタル化を推進すべく、企業に対するITエンジニアリソースの提供を継続するとともに、ITエンジニアの独立支援を行うMidworks事業を中心としたエンジニアプラットフォームサービスの拡大に注力いたしました。当第1四半期連結累計期間においては前期に引き続き、Midworks事業を中心とするエンジニア獲得及び顧客獲得に向けた広告投資に加え、グループ全体の正社員エンジニア、営業人材及びコンサル人材の採用に関する採用広告費等の投資を実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,740,495千円（前年同期比38.7%増）、営業利益629,751千円（前年同期比117.8%増）、経常利益625,226千円（前年同期比121.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は367,223千円（前年同期比91.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

当社グループの報告セグメントは、株式会社Branding Engineerを中心とした「エンジニアプラットフォームサービス」、株式会社Digital Arrow Partnersを中心とした「マーケティングプラットフォームサービス」、株式会社M&A承継機構、株式会社enableXを中心とした「コンサル・アドバイザリーサービス」の3区分としております。

① エンジニアプラットフォームサービス

エンジニアプラットフォームサービスは、株式会社Branding Engineerによって運営される企業とフリーランスエンジニアをマッチングするMidworks事業、システムの受託開発やエンジニア組織のコンサルティングを行っているFCS事業、株式会社Branding Careerによって運営されるITエンジニアを中心とした専門領域特化型転職支援サービスであるStars Agent事業、個人・法人双方に対してプログラミング教育やコーチングサービスを提供するSchool事業、株式会社Growth Oneによって運営される受託開発事業、TSR株式会社、株式会社ジンアース、株式会社MapleSystems、株式会社Careconが行うエンジニアマッチングサービスで構成されております。

当第1四半期連結累計期間においては主にMidworks事業において、前期に引き続き新規取引先の獲得に注力するとともに、稼働エンジニア数を増加させるための施策としてエンジニア獲得・顧客獲得のための広告投資のほか、正社員エンジニア、内勤の営業人材の採用に関する投資を積極的に行いました。

この結果、本報告セグメントの売上高は4,281,720千円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は238,473千円（前年同期比38.8%減）となりました。

② マーケティングプラットフォームサービス

マーケティングプラットフォームサービスは、株式会社Digital Arrow Partnersによって運営されるWEBマーケティングサービスであるDigital Arrow Partners事業、クローズドASPサービスであるASP事業、フリーランスマーケターをマッチングするExpert Partners Marketing事業に加え、株式会社2Hundredによって運営されるBtoCプ

プラットフォーム事業で構成されております。

当第 1 四半期連結累計期間においては、企業のマーケティング全般を担えるようサービスの拡充を図りました。

この結果、本報告セグメントの売上高は94,897千円（前年同期比23.8%減）、セグメント損失は△9,982千円（前年同期はセグメント利益27,935千円）となりました。

③ コンサル・アドバイザーサービス

コンサル・アドバイザーサービスは、株式会社enableXが行う戦略コンサルティング事業、株式会社M&A承継機構によって運営されるM&Aアドバイザー事業を行っております。

当第 1 四半期連結累計期間においては、それぞれの領域において業界経験が豊富な人材を中心に採用を行い、事業拡大に取り組みました。

この結果、本報告セグメントの売上高は1,363,877千円（前年同期比288.2%増）、セグメント利益は636,490千円（前年同期比765.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は、10,529,706千円となり、前連結会計年度末に比べ581,835千円増加いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が848,158千円増加した一方、現金及び預金が477,160千円減少したことによるものであります。

負債は、6,700,170千円となり、前連結会計年度末に比べ220,231千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が108,925千円増加し、賞与引当金が71,363千円増加したことによるものであります。

純資産は、3,829,535千円となり、前連結会計年度末に比べ361,604千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引により利益剰余金が345,476千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、2025年10月15日付けの「2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 8 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,557,240	4,080,080
売掛金及び契約資産	2,414,553	3,262,711
その他	248,030	273,842
貸倒引当金	△3,094	△3,336
流動資産合計	7,216,730	7,613,297
固定資産		
有形固定資産	82,913	79,981
無形固定資産		
のれん	1,872,886	2,051,270
その他	397,739	385,893
無形固定資産合計	2,270,626	2,437,164
投資その他の資産		
投資有価証券	40,278	35,908
敷金及び保証金	198,232	208,960
繰延税金資産	127,369	142,507
その他	37,103	40,812
貸倒引当金	△25,383	△28,926
投資その他の資産合計	377,599	399,262
固定資産合計	2,731,140	2,916,408
資産合計	9,947,870	10,529,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 8 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,080,512	1,055,727
1 年内返済予定の長期借入金	1,069,069	1,107,819
未払金	842,901	893,032
未払法人税等	195,973	304,899
賞与引当金	37,656	109,019
その他	705,347	708,918
流動負債合計	3,931,461	4,179,416
固定負債		
長期借入金	2,468,212	2,464,613
その他	80,264	56,140
固定負債合計	2,548,476	2,520,753
負債合計	6,479,938	6,700,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,038,985	1,039,081
資本剰余金	1,068,884	1,068,980
利益剰余金	1,243,282	1,588,759
自己株式	△303	△303
株主資本合計	3,350,850	3,696,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379	△1,876
その他の包括利益累計額合計	379	△1,876
新株予約権	10,428	14,314
非支配株主持分	106,272	120,578
純資産合計	3,467,931	3,829,535
負債純資産合計	9,947,870	10,529,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2024年11月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 9 月 1 日 至 2025年11月30日)
売上高	4,137,399	5,740,495
売上原価	2,931,278	3,444,819
売上総利益	1,206,120	2,295,675
販売費及び一般管理費	916,982	1,665,923
営業利益	289,138	629,751
営業外収益		
助成金収入	3,420	6,507
受取手数料	749	1,053
受取補償金	—	1,753
その他	768	779
営業外収益合計	4,938	10,093
営業外費用		
支払利息	5,179	9,770
支払手数料	6,250	2,472
その他	216	2,376
営業外費用合計	11,646	14,618
経常利益	282,430	625,226
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,149
特別利益合計	—	1,149
税金等調整前四半期純利益	282,430	626,376
法人税、住民税及び事業税	101,523	297,967
法人税等調整額	△10,891	△38,297
法人税等合計	90,631	259,669
四半期純利益	191,798	366,707
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	—	△516
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,798	367,223

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024 年 9 月 1 日 至 2024 年 11 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025 年 9 月 1 日 至 2025 年 11 月 30 日)
四半期純利益	191,798	366,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	703	△2,256
その他の包括利益合計	703	△2,256
四半期包括利益	192,502	364,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,502	364,967
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△516

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間(自 2024 年 9 月 1 日 至 2024 年 11 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	合計
	エンジニア プラットフォーム サービス	マーケティング プラットフォーム サービス	コンサル・ アドバイザー サービス	計		
売上高 顧客との契約から生じ る収益						
外部顧客への売上高	3,661,499	124,556	351,343	4,137,399	—	4,137,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,020	4,200	584	5,805	△5,805	—
計	3,662,520	128,756	351,928	4,143,205	△5,805	4,137,399
セグメント利益	389,730	27,935	73,510	491,176	△199,517	291,658

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の調整額△199,517千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	291,658
取得関連費用	△2,519
四半期連結損益計算書の営業利益	289,138

当第 1 四半期連結累計期間(自 2025 年 9 月 1 日 至 2025 年 11 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	合計
	エンジニア プラットフォーム サービス	マーケティング プラットフォーム サービス	コンサル・ アドバイザリー サービス	計		
売上高 顧客との契約から生じ る収益						
外部顧客への売上高	4,281,720	94,897	1,363,877	5,740,495	—	5,740,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,421	5,394	10,194	21,010	△21,010	—
計	4,287,142	100,291	1,374,071	5,761,505	△21,010	5,740,495
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	238,473	△9,982	636,490	864,981	△233,339	631,642

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△233,339千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	631,642
取得関連費用	△1,890
四半期連結損益計算書の営業利益	629,751

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024 年 9 月 1 日 至 2024 年 11 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025 年 9 月 1 日 至 2025 年 11 月 30 日)
減価償却費	10,309 千円	12,093 千円
のれんの償却額	33,091 千円	103,420 千円